

堺区区民評議会フィールドワーク報告書

日時	令和元年5月30日(金)午後1時～午後5時30分
視察先	堺市博物館、仁徳天皇陵古墳拝所前、さかい利晶の杜
参加者	区民評議会委員:井辻委員、葛西委員、金山委員、間宮委員 堺区役所:西本区長他
目的	令和初となる「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録を受け、来訪者の大幅増が想定される中、周辺地域の環境や現状の観光施設の把握を目的とする。
視察内容	<p>① 堺市博物館見学とVR体験</p> <p>堺市博物館は令和元年6月1日に入館者が300万人を超えており、歴史、美術、考古、民族に関する博物館として多くの資料を収受、保存している。当日は古墳の石棺の模型から埴輪、金の鎧のレプリカ、鉄砲、刃物等の展示を見学し、堺の歴史、産業について学んだ。</p> <p>また特設コーナーで実施しているバーチャルリアリティ技術で百舌鳥古墳群を上空から眺める疑似体験ツアーを体験した。現代から1600年前にタイムスリップし、古代の方がどのように巨大古墳を作り上げたかや、仁徳天皇陵古墳の周辺の古墳の位置関係等の解説を受けた。</p> <p>② 堺観光ボランティアガイドの案内で仁徳天皇陵古墳拝所前を見学</p> <p>博物館から堺市立茶室「伸庵」、大仙公園いこいの広場の「おもてなしトイレ」を通り、仁徳天皇陵古墳拝所前を見学した。</p> <p>観光ボランティア協会の川上浩さんの解説で仁徳天皇陵古墳拝所前を見学し、仁徳天皇陵古墳の秘話や埴輪の関係等の解説を受けた。</p> <p>③ 利晶の杜見学と茶の湯体験</p> <p>当日1階では江戸時代後期の堺を描いた「泉州堺絵図」のフロアマップを用いた案内や、昭和初期時代を再現したジオラマ模型の見学を通じ、都市としての長い歴史を感じる展示を見学した。また「千利休」の生涯の逸話を関連資料の展示を通して知り、2階には与謝野晶子記念館があり、現代にも通じる言葉の数々が壁や動画に映し出され、与謝野晶子の世界観に触れることができた。茶の湯体験では、和菓子と抹茶を味わいお茶の作法や、茶の湯の精神について学んだ。</p> <p>④ SAKAINOMA(大小路のカフェ)で、意見交換会</p>



○主な意見

・堺市博物館には驚ぐらい展示品、文化財が多くあった。堺市は観光資源が豊富なので堺市民は今自分が住む街を理解し、愛着を持ってより良くするために何が出来るか考えることが大切だと思う。

・ボランティアガイドの方の知識量には驚いた。内容も興味深いものが多い。

・古墳のVRはゴーグルを付けて座るだけでなく、動き回ることができればより楽しめるのではないかと。若者も興味を持つと思うので、案内の仕方や内容も含めて改善の余地はある。

・古墳等の周りに新しいものを作るのも良いが、古墳の鑑賞方法までプロデュースすべきではない。個人が自由に思いを馳せる場所として、目に見えないものを大切にしていきたい。

・若い観覧者が少ないような気がした。また日本語表記が多く、海外から来られた方が楽しめるか等の配慮が気になった。

・世界遺産登録に向け、費用をかけるべきところはかけるべきではないか。他府県の世界遺産でもお金をかけず、何十年も前のビデオが使われていて、海外の方に良さが伝わらない例も多いので動画やPRに資金を投入し、最新のものを作成していくことが必要だと思う。

○視察の様子

当日の様子

